

<症例 1> 38 歳 女性

【現病歴】

2022 年 2 月下旬、他施設人間ドック時に行った婦人科検診で、ASC-H で要精査となったため、4 月 5 日 A 病院受診。組織診にて『Squamous intraepithelial neoplasia, low grade』と診断。3 ヶ月後の再検査でも同様の結果で、半年に 1 度検査を受けていた。

2024 年 7 月 12 日実施の組織診で「『Squamous intraepithelial neoplasia, High grade/CIN3』の診断。精査・加療目的に当院紹介。

【経過】

2024 年 7 月 29 日 婦人科外来初診。

Colposcope にて 1cm 程のびらんを認め、細胞診、組織診施行。
超音波検査では異常所見なし。

2024 年 8 月 6 日 細胞診、組織診の結果『Squamous intraepithelial neoplasia, High grade/CIN3』

2024 年 8 月 20 日 円錐切除術目的にて入院。

2024 年 8 月 21 日 子宮頸部円錐切除術実施。

2024 年 8 月 24 日 経過良好にて退院。

2024 年 9 月 4 日 円錐切除術の結果、CIN3 であり、腫瘍も取りきれているので、
今後は外来で経過観察とする旨、本人と家族に説明。

≪病理報告≫

HSIL/CIN3

腫瘍は 9×6mm で、上皮内にとどまっている。切除断端(一)。HPV 陽性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

＜症例 2＞ 45 歳 女性

【現病歴】

下腹部痛が続き、不正出血があったため、2024 年 6 月 20 日 A 婦人科クリニックを受診。
Colposcope を実施したところ、子宮頸部に 3cm 径のびらん状病変があり、子宮頸部細胞診施行。
細胞診結果報告『adenocarcinoma 陽性』。精査・加療目的に当院紹介。

【経過】

- 2024 年 7 月 4 日 当院婦人科を初診。
Colposcope により子宮頸部に 3cm 径の病変あり。
- 2024 年 7 月 8 日 MRI 施行。
所見：子宮体部への進展、周囲結合組織への浸潤が認められる。
大動脈周囲リンパ節には腫大は認めない。基靭帯リンパ節、右内腸骨リンパ節に
転移と考える腫大を認める。
- 2024 年 7 月 18 日 検査目的で入院。
- 2024 年 7 月 19 日 子宮頸部円錐切除術施行。
- 2024 年 7 月 22 日 経過良好にて退院。
- 2024 年 7 月 29 日 円錐切除術の結果『Adenocarcinoma。断端陽性』
子宮頸癌の診断。リンパ節転移を認めることから、治療方針として子宮全摘出術、
化学放射線療法を行うことが、本人と家族に説明された。
- 2024 年 8 月 19 日 手術目的で入院。
- 2024 年 8 月 20 日 準広汎子宮全摘出術、骨盤リンパ節郭清術施行。
- 2024 年 8 月 27 日 化学療法開始。
- 2024 年 9 月 3 日 放射線療法開始。
- 2024 年 9 月 13 日 外来で化学放射線療法継続とし、経過良好にて退院。

＜＜病理報告＞＞

Adenocarcinoma, HPV associated (Endocervical adenocarcinoma, usual type)
腫瘍は 30×25mm 径で、体部へ拡がっている。子宮傍組織への浸潤を認める。
右基靭帯リンパ節 2/5、左基靭帯リンパ節 2/5、右内腸骨リンパ節 2/5、左内腸骨リンパ節 0/5、右閉鎖リ
ンパ節 0/3、左閉鎖リンパ節 0/5、右外腸骨リンパ節 0/2、左外腸骨リンパ節 0/2、右鼠径上リンパ節 0/2。
切除断端は剥離面も含め、陰性です。HPV 陽性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 3> 60歳 女性

【現病歴】

出血があり、2024年7月4日C病院婦人科受診。
経膈超音波検査で、子宮体部に4cm径の腫瘤を認めた。7月11日子宮鏡下生検施行。
「Endometrioid carcinoma」の診断で、治療目的に当院紹介。

【経過】

2024年7月30日 当院初診。
2024年8月5日 骨盤MRI施行。
所見：子宮周囲脂肪織への浸潤、左卵巣の腫瘤を認める。
骨盤内リンパ節に転移と考える腫大を複数認める。
2024年8月9日 前医での組織診、MRI検査から、子宮体癌 左卵巣転移と診断。
手術および放射線治療を行うこと、手術の結果次第では化学療法も
検討することを、本人と家族に説明。
2024年8月22日 手術目的で入院。
2024年8月23日 単純子宮全摘術および両側付属器切除術施行。
骨盤および傍大動脈リンパ節郭清術施行。
2024年9月9日 放射線治療開始。
2024年9月20日 今後は、C病院で化学療法を行うこととし、経過良好にて退院。
2024年10月1日 C病院受診。外来にて化学療法開始。

《病理報告》

Endometrioid carcinoma G1;

腫瘍は周囲結合組織への浸潤、左卵巣への転移、骨盤漿膜への播種を認める。

切除断端(一)。洗浄細胞診 陽性。

リンパ節郭清：右基靭帯リンパ節 3/5、左基靭帯リンパ節 2/5、右内腸骨リンパ節 1/5、
左内腸骨リンパ節 2/5、右外腸骨リンパ節 1/5、左外腸骨リンパ節 1/5、右閉鎖リンパ節 0/3、
左閉鎖リンパ節 0/3、傍大動脈リンパ節 1/5

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 4> 48歳 女性

【現病歴】

生理時の出血量が増えてきたのが気になり、2024年5月27日Bレディースクリニック受診。
経腔超音波検査で筋層に腫瘤を認めた。肉腫が疑われ、精査・加療目的に当院紹介。

【経過】

- 2024年6月20日 紹介初診。
経腔超音波検査施行。子宮体部に7×5cm径の腫瘤を認めた。
- 2024年6月26日 MRI施行。子宮体部後壁の筋層内に7×5cm径の境界不明瞭で不均一パターンを示す腫瘤を認めた。子宮周囲への進展は認められない。
画像所見から、子宮肉腫と診断、手術を行うことを、本人と家族に説明。
- 2024年7月9日 手術目的で入院。
- 2024年7月10日 単純子宮全摘出術＋両側付属器摘出術を施行。
- 2024年7月22日 経過良好にて退院。

《病理報告》

Endometrial stromal sarcoma, low grade

子宮体部後壁に7×5cm径の子宮間質肉腫を認める。付属器や周囲組織への進展は認めない。
郭清リンパ節は陰性です。
断端陰性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 5> 50 歳 女性

<現病歴>

1ヶ月くらい前から腹部膨満感があり、2024年8月1日D医院を受診。婦人科系疾患を疑い、当院婦人科を紹介。

<経過>

2024年8月9日 当院婦人科初診。

2024年8月10日 超音波検査施行。

所見：左卵巣に多房性嚢胞性腫瘍を認める。

2024年8月16日 MRI 施行。

左卵巣に20cm径の嚢胞性腫瘍を認める。一部に充実成分も認める。

2024年8月23日 画像所見から「悪性の卵巣嚢胞性腫瘍」の診断。

手術を行い、病理結果によっては術後化学療法を行うことを本人と家族に説明。

2024年9月11日 手術目的で入院。

2024年9月12日 単純子宮全摘術および両側付属器切除術、大網切除術施行。

2024年9月21日 経過良好にて退院。

<<病理報告(手術)>>

Mucinous borderline tumor with intraepithelial carcinoma

左卵巣の腫瘍は20×15×18cm。細胞質内粘液を有する胃・腸型細胞に被覆された腺管が密に増殖している。一部に高度の細胞異型を示す腫瘍細胞を認め、上記と診断した。

腫瘍は完全に切除されている。

腹水細胞診：陰性、腹腔洗浄細胞診：陰性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 6> 30 歳 女性

<現病歴>

下腹部の違和感が3ヶ月ほどつづいているため、2024年5月27日B医院を受診。婦人科系疾患を疑い、当院婦人科紹介。

<経過>

- 2024年6月6日 当院婦人科初診。
- 2024年6月10日 超音波検査、腫瘍マーカー検査施行。
超音波検査所見:右卵巣に腫大を認める。腹水細胞診実施。
- 2024年6月14日 MRI 施行。
右卵巣に10cm径の腫瘤を認める。左卵巣、子宮は特に所見なし。
- 2024年6月21日 腫瘍マーカー検査ではAFP高値。腹水細胞診:陽性。
諸検査の結果から「卵巣がん(胚細胞腫瘍)」の診断。
手術を行い、術後化学療法を行うことを本人と家族に説明。
- 2024年7月4日 手術目的で入院。
- 2024年7月5日 単純子宮全摘術および両側付属器切除術施行。
- 2024年7月17日 化学療法開始。
- 2024年7月31日 経過良好にて退院。

<<病理報告(手術)>>

Yolk sac tumor

腫瘍は10×8×9cm径。淡明な細胞質を有する立方形ないし扁平な腫瘍細胞が、迷路様構造や微小嚢胞を形成している。腫瘍は右卵巣内にとどまり、左卵巣、左右卵管、子宮に腫瘍の転移は認めない。

腹腔洗浄細胞診 陽性。腫瘍は完全に切除されている。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 7> 68 歳 女性

【現病歴】

1ヶ月くらい前から外陰部にかゆみがあり、2024年8月19日D婦人科クリニックを受診。悪性腫瘍を疑い、当院婦人科紹介。

【経過】

- 2024年8月28日 当院婦人科初診。
大陰唇から会陰にかけて皮膚の変色を認めた。大陰唇の一部に白斑が見られ、生検施行。
Colposcopeにて、子宮頸部や腔に異常所見は認めない。
- 2024年8月30日 経膈超音波検査施行。
所見：子宮内部、左右卵巣に異常所見は認めない。
- 2024年9月8日 初診時の生検結果『VIN III』。
生検、画像所見より「外陰癌」の診断。
腫瘍の部分を切除する旨、本人と家族に説明。
- 2024年9月20日 手術目的で入院。
- 2024年9月21日 局所切除術施行。
- 2024年9月28日 経過良好にて退院。

≪病理報告(手術)≫

Vulvar intraepithelial neoplasia, grade III
腫瘍は10×12mm径で、表皮内にとどまっている。
切除断端陰性。HPV陽性。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

<症例 8> 63 歳 女性

【現病歴】

2024 年 8 月 16 日子宮頸癌術後の経過観察のため F レディースクリニック受診。診察時膣入口近くに
びらん性病変を認め、精査・治療目的に当院婦人科紹介。

【経 過】

- 2024 年 8 月 26 日 当院婦人科初診。
内診で膣入口より 1cm のところにびらん性病変を認め、生検施行。
- 2024 年 9 月 10 日 初診時の生検結果『Vaginal intraepithelial neoplasia gradeIII HPV 陽性』
- 2024 年 9 月 13 日 骨盤 MRI 施行。
膣周囲の異常所見は認められない。
「膣癌」の診断。レーザー蒸散術を外来で行う旨、本人と家族に説明。
- 2024 年 9 月 25 日 レーザー蒸散術施行。
今後は、外来で経過観察とする。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			

＜症例 9＞ 38 歳 女性

＜現病歴＞

2022 年 8 月妊娠が判明したが、4 月の健診時、侵入性胎状奇胎と診断され、子宮内容除去術、メトトレキサートによる化学療法施行。治療後、経過観察がされていた。

2024 年 2 月 9 日不正出血と下腹部痛のため、B 産婦人科クリニック受診。超音波検査で子宮内腫瘍を認め、尿中 hCG 値が 50,000 mIU/ml(2/9 採血)と高値で、絨毛癌を疑い、精査・治療目的に当院紹介。

＜既往歴＞

1 経妊 0 経産。最終月経:2023 年 12 月 16 日～21 日

＜経過＞

2024 年 2 月 13 日 当院紹介受診。

2024 年 2 月 15 日 胸部 CT、骨盤 MRI 施行。

胸部 CT:異常所見なし。

骨盤 MRI:子宮体部に筋層へ進展する 3cm 径の腫瘍を認める。

左右卵管、左右卵巣には異常所見なし。広間膜への播種を認める。

2024 年 2 月 19 日 子宮内容除去術施行。

2024 年 2 月 28 日 組織診結果は「Choriocarcinoma」

2022 年の侵入性胎状奇胎に続発した妊娠性絨毛癌と診断。

化学療法施行後、病変残存している場合は切除術と術後化学療法を検討する旨、本人と家族に説明。

2024 年 3 月 4 日 治療目的に入院。

2024 年 3 月 5 日 化学療法開始。

2024 年 3 月 16 日 経過良好にて退院。

【参考】 予後予測スコア

予後因子	0	1	2	4
年齢	<40 歳	40 歳 ≤		
前回妊娠	胎状奇胎	流産	正期産	
無妊娠期間(月数)	<4	4~6	7~12	12<
治療前 血清 hCG レベル(IU/ml)	<10 ³	10 ³ ~<10 ⁴	10 ⁴ ~<10 ⁵	10 ⁵ ≤
子宮を含む 最大腫瘍の大きさ	<3cm	3~5cm	5 cm <	
転移部位	肺	脾、腎	消化管	肝、脳
転移数		1~4	5~8	8<
既往療法歴			単剤	2 種類以上の薬剤

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
310 側性		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
320 病理診断 《形態コード》		721 内視鏡的治療 施行日			
329 病理診断 《テキスト》		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
330 診断根拠		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
350 当該腫瘍初診日		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
360 他施設診断日		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
370 自施設診断日		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
380 診断日		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
400 診断施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
410 治療施設		750 化学療法			
420 症例区分		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
450 来院経路		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
460 発見経緯		756 化学療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		760 内分泌療法			
700 外科的治療		761 内分泌療法 施行日			
701 外科的治療 施行日		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		770 その他の治療			
		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
		780 経過観察選択			
		790 緩和的治療			